

## 8. プロジェクト・施策の進め方

### 8-1 実施主体とリスク分担

本計画を進めるにあたって、「行政」「交通事業者」「住民」が連携し、一体となって、計画目標の達成に向けて取り組む必要がある。それぞれの役割分担を明確にし、リスク分担を行いながら新たな交通体系を構築する。

	役割	具体的な対応イメージ
行政	全体コーディネート及び、最低限の交通サービスの保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨格路線・広域路線・地域路線の再編計画策定</li> <li>バス利用環境の整備</li> <li>利用促進ツールの作成 など</li> </ul>
交通事業者	骨格路線・広域路線等の運行を担い、市民の移動を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線網再編計画の運営面からの支援</li> <li>バスマップ配布先・スポンサー協力 など</li> </ul>
住民	サービスを受けるだけでなく、公共交通の意義を考える、支える、主体的に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線網再編計画に対する意見・要望</li> <li>利用促進に向けた協力</li> <li>バスマップの利用者目線での提案</li> <li>住民主体による検討・事業化・運営 など</li> </ul>

### 8-2 推進・管理体制

本計画に基づくプロジェクト・施策の推進・管理体制は以下の通り。

推進・管理体制	構成員	役割
石巻市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民</li> <li>学識経験者</li> <li>交通事業者</li> <li>道路管理者</li> <li>交通管理者</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も応急仮設住宅への対応、市民のニーズ変化に合わせた地域公共交通の見直し・改善（短期）や復興事業完了後の新たなまちを見据えた、持続可能な交通体系の構築に向けたプロジェクトの検討（中・長期）などが継続的に協議できる「場」として位置づける。</li> </ul>
バス事業等連絡調整ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事業者</li> <li>学識経験者</li> <li>石巻市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線網の再編計画や見直し計画を検討する。</li> <li>利用促進メニューを検討する。</li> </ul>
各地域の住民バス等運行協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民</li> <li>交通事業者</li> <li>石巻市総合支所・支所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情に応じた地域路線（住民・市民バス等）の検討・確保を行う。</li> <li>住民・市民バス等の運行実績の確認を行い、運行実績を踏まえた定期的な運行方法の見直しを検討・実施する。</li> </ul>

### 8-3 PDCAサイクルによる施策の推進

- ①短期・中長期という期間でプロジェクト・施策を立案
  - ・短期に実施するプロジェクト・施策は計画期間の前期（H28～H32）に実施する。
  - ・将来的に計画期間の後期（H33～37）に実施を検討するものを、「中長期」のプロジェクト・施策と位置づける。
- ②実証運行を通じた多様なプロジェクト・施策の実践・展開により、徐々に「将来の姿」に近づける
  - ・計画の実現に向けて、各種プロジェクト・施策の詳細な実施計画（地域公共交通再編実施計画等）を策定し、実証運行として同時並行的に実施。
  - ・実証運行を通して、市民が移動しやすい環境づくりの実践により、復興事業を支援することで、市民が復興を実感できるようにする。
- ③実証運行の効果を検証し、本格実施への移行を検討
  - ・PDCAサイクル（「計画⇒実施⇒検証⇒改善」の循環検討手法）の考え方にに基づき、計画・実施・検証・改善を行う。
  - ・プロジェクト・施策の実施にあたっては、利用者数などの目標値・評価指標を設定して1～3年間程度の実証運行を行い、目標や評価指標の検証を踏まえて、問題点・改善要望を把握した上で、本格運行・本格実施への移行を検討する。目標値に達しない場合や効果が見られない場合には、事業の見直しや中止を含めた判断を行う。



## 8-4 目標値の設定

### (1) 検証・評価のための指標・目標値

基本方針1 各地区に安心して住み続けられるために、日常生活等を支える「使える」交通手段を確保する

- 目標1-① 市民の日常生活に欠かせない地域内での移動及び広域移動を確保する
- 目標1-② 市民にとって、気軽に利用できる公共交通システムを構築する

基本方針2 復興まちづくりと連動した「多極ネットワーク型コンパクトシティ」形成に貢献する

- 目標2-① 復興事業の進捗に伴って変化していくまちづくりと連携する交通施策の展開
- 目標2-② 市内各地域の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークを構築する
- 目標2-③ 交通拠点となる駅・バス停等の乗り継ぎ利便性向上

基本方針3 地域内外の交流・観光利用を促進し、地域と住民を元気にする

- 目標3-① 中心市街地の公共交通利便性向上を図り、交流人口増加による「にぎわい創出」に貢献する
- 目標3-② 市外からの来訪者にもわかりやすい、使いやすい公共交通

基本方針4 多様な主体の連携と協働により、将来に渡り継続できる地域公共交通を構築する

- 目標4-① 行政、交通事業者、市民それぞれの役割及び負担の明確化
- 目標4-② 市内公共交通を階層別に整理し、路線バスと住民バス等の役割分担を明確化する

#### 【指標】

##### ●交通に対する意識

指標：市民の評価・満足度（市民アンケート）

##### ●通院・買物・高校通学等のアクセス確保

指標：公共交通によるネットワーク充足率

##### ●新市街地でのバス乗降者数

指標：のぞみ野（新蛇田）、あゆみ野（新蛇田南）、さくら町（新渡波、新渡波西）のバス乗降者数

##### ●マイカー・送迎利用からの転換

指標：公共交通利用率（市民アンケートの目的別移動手段）

##### ●中心市街地での鉄道及びバス乗降者数

指標：石巻駅の1日平均乗車人員  
石巻駅、中央地区交通拠点、中央三丁目などのバス乗降者数の合計

##### ●離島航路の利用者数

指標：離島航路の年間利用者数

##### ●中心市街地の核施設の利用者数

指標：石ノ森萬画館、観光交流施設の総入場者数

##### ●中心市街地の歩行者通行量

指標：中心市街地通行量調査の歩行者通行量

##### ●公共交通の利用者数

指標：市内全路線の年間利用者数

##### ●公共交通維持のための市の負担額

指標：バス関係市予算執行額（H27を維持）

### ●交通に対する意識

- ・公共交通に対する市民の満足度向上を測る指標として、アンケートによる「公共交通に対する不満足度」を設定する。

指 標	現況値 (平成26年度)	中間目標値 (平成32年度)	目標値 (平成37年度)
市民の公共交通に対する不満足度*	36.3%	25%	20%

※市民アンケート調査における「公共交通全般についての総合的な評価」で、「不満」と「やや不満」の合計の占める割合（無回答除く）。

### ●通院・買物・高校通学等のアクセス確保

- ・公共交通での日常の外出確保（通院・買物・高校通学等）を測る指標として、「公共交通によるネットワーク充足率」を設定する。
- ・アクセスできないエリアを生じさせないことを目指す。

指 標	現況値 (平成27年度)	中間目標値 (平成32年度)	目標値 (平成37年度)
公共交通による市内7エリア*のネットワーク充足率	100%	100%	100%
新市街地及び防災集団移転団地の公共交通充足率	—	100%	100%

※石巻エリア、河北エリア、雄勝エリア、河南エリア、桃生エリア、北上エリア、牡鹿エリア

### ●新市街地でのバス乗降者数

- ・新市街地への定住化を測る指標として、のぞみ野（新蛇田）、あゆみ野（新蛇田南）、さくら町（新渡波、新渡波西）のバス乗降者数を設定する。

指 標	現況値 (平成27年度)	中間目標値 (平成32年度)	目標値 (平成37年度)
のぞみ野（新蛇田）	—	—	80人/日
あゆみ野（新蛇田南）	—	—	50人/日
さくら町（新渡波、新渡波西）	—	—	30人/日

●マイカー・送迎利用からの転換

・マイカー・送迎利用からの転換を測る指標として、「公共交通利用率」を設定する。

指 標	現況値 (平成26年度)	中間目標値 (平成32年度)	目標値 (平成37年度)
通勤の公共交通利用率*	13.7%	15%	20%
通学の公共交通利用率*	63.5%	70%	80%
通院の公共交通利用率*	18.9%	25%	30%
買物の公共交通利用率*	12.2%	15%	20%

※市民アンケートの目的別移動手段に占める公共交通（JR、高速バス、路線バス、住民バス）の割合。

●中心市街地での鉄道及びバス乗降者数

・中心市街地への交流人口を測る指標として、「石巻駅の1日平均乗車人員」、「中心市街地でのバス乗降者数」を設定する。

指 標	現況値 (平成26年度)	中間目標値 (平成32年度)	目標値 (平成37年度)
石巻駅の1日平均乗車人員	2,057人/日	3,500人/日	4,500人/日
中心市街地*でのバス乗降者数の合計	733.5人/日	800人/日	1,000人/日

※現況値は、石巻駅、中央三丁目の合計。目標値は、石巻駅、中央三丁目、中央地区交通拠点の合計。

●離島航路の利用者数

・離島への交流人口を測る指標として、「離島航路の年間利用者数」を設定する。

指 標	現況値 (平成25年度)	中間目標値 (平成32年度)	目標値 (平成37年度)
離島航路の年間利用者数	68,000人	70,000人	75,000人

●中心市街地の核施設の利用者数

・中心市街地の活性化の指標の1つとして、「石ノ森萬画館、観光交流施設の総入場者数」を設定する。

指 標	現況値 (平成25年度)	中間目標値 (平成31年度*)	目標値 (平成37年度)
石ノ森萬画館、観光交流施設の総入場者数	241,208人	1,241,200人	—

※石巻市中心市街地活性化基本計画では、平成31年度を目標年度としている。

●**中心市街地の歩行者通行量**

・中心市街地に訪れる人による賑わいを図る指標として、「中心市街地の歩行者・自転車通行量」を設定する。

指 標	現況値 (平成25年度)	中間目標値 (平成31年度 <sup>※</sup> )	目標値 (平成37年度)
中心市街地の歩行者・自転車通行量	15,002人	16,950人	—

※石巻市中心市街地活性化基本計画では、平成31年度を目標年度としている。

●**公共交通の利用者数**

・公共交通の活性化状況を測る指標として、「市内全路線の年間利用者数」を設定する。

指 標	現況値 (平成26年度)	中間目標値 (平成32年度)	目標値 (平成37年度)
市内全路線 <sup>※</sup> の年間利用者数	534,888人	550,000人	600,000人

※路線バス11路線と住民バス等12路線の合計（仮設住宅線を含む）。

●**公共交通維持のための市の負担額**

・公共交通の持続可能性を測る指標として、「バス関係市予算執行額（石巻市の持ち出し）」を設定する。

指 標	現況値 (平成26年度)	中間目標値 (平成32年度)	目標値 (平成37年度)
バス関係市予算執行額 <sup>※</sup> (石巻市の持ち出し)	122,020千円	120,000千円	120,000千円

※石巻市の持ち出しはバス関係経費のうち、一般財源及び市が独自に所有する基金繰入金の合計。

## (2) 評価のために収集するデータと収集方法

目標の達成状況を把握するのに必要な資料・データを定期的に収集する。

骨格路線、広域路線（鉄道・高速バス除く）、中心部路線、地域路線については、全路線の乗降者数データを収集する。

また、計画前期の最終年度（平成 32 年度）及び計画後期の最終年度（平成 37 年）には、市民アンケートを実施し、公共交通に対する意識、評価、改善意見等を把握する。

	収集するデータ	収集方法	実施主体	実施時期
交通に対する意識	市民の評価・満足度	市民アンケート調査の「公共交通の評価」	石巻市	平成 32 年度 平成 37 年度
通院・買物・高校通学等のアクセス確保	公共交通によるネットワーク充足率	バス路線図と時刻表のチェック	石巻市	
新市街地でのバス乗降者数	新蛇田、新蛇田南、あけぼの北、新渡波、新渡波西地区のバス乗降者数（1日平均）	骨格路線の乗降調査	交通事業者、石巻市	年 1 回
		広域路線の乗降調査		年 1 回
		中心部路線の乗降調査		年 1 回
		地域路線の乗降調査（乗務員による記入）		全運行日
マイカー・送迎利用からの転換	公共交通分担率	市民アンケート調査の「目的別移動手段」	石巻市	平成 32 年度 平成 37 年度
中心市街地での鉄道及びバス乗降者数	石巻駅、中央地区交通拠点、中央三丁目の鉄道・バス乗降者数の合計（1日平均）	駅別乗車人員の確認	交通事業者、石巻市	年 1 回
		骨格路線の乗降調査		年 1 回
		広域路線の乗降調査		年 1 回
		中心部路線の乗降調査		年 1 回
		地域路線の乗降調査（乗務員による記入）		全運行日
離島航路の利用者数	離島航路の年間利用者数	乗車人員の確認	交通事業者、石巻市	年 1 回
中心市街地の核施設の利用者数	石ノ森萬画館、生鮮マーケットの総入場者数		石巻市	年 1 回
中心市街地の歩行者通行量	歩行者通行量	中心市街地通行量調査	石巻市	年 1 回
公共交通の利用者数	市内全路線の年間利用者数	※新市街地・中心市街地でのバス乗降者数と同様		
公共交通維持のための市の負担額	バス関係市予算執行額	石巻市予算・決算の確認	石巻市	年 1 回